

令和3年10月16日(土)

顧問・~~監督~~外部指導者(コーチ)様

大阪中学校秋季柔道大会本部

計量・柔道着検査・試合等について

[大会期間中、携行すること]

- *参加者は、マスク着用・3密回避・大声を出さない・手洗い・手指消毒を行うなど、コロナ対策を励行し、予防に努めること。
- *コロナ対策として、修道館内に入ることを厳しく制限する(無観客試合)ので、各校で保護者等に事前周知しておくこと。IDシールのない者は、入館を認めない。IDシールは決して、他人に譲渡しないこと。
- *顧問・コーチは、審判員に準じた服装で、受付にてIDシールを受け取り、胸元につけて大会に参加すること。
- *受付時には、「健康状態確認書」を忘れないように提出すること。
- *入館は正面入口(玄関)・退館は裏口を使用すること。選手入館後、正面入口は閉鎖する。
- *入館の際、全ての参加者は履き物を靴袋に入れ、持ち歩くかロッカーに入れること。出入口での放置・靴箱の使用は厳禁する。
- *荷物・靴ビニールは、廊下に置かないこと。貴重品は、各校で管理すること。

[午前中：女子新人団体戦]

1. 計量会場 : 自校チーム試合会場と同じ会場
2. 時程 : [更衣場所：女子更衣室・剣道更衣室の使用可]
 - 9：30～顧問受付・「健康状態確認書」を提出する。IDシール配布 選手・R選手入館。顧問は、選手変更がある場合、「選手変更用紙」を計量会場に持って行くこと。
 - 9：30 予備計量開始
 - 9：45 正式計量 全会場終了後 アップ開始
 - 10：00 オーダー表 本部に提出
 - 10：10
 - 10：45 開会式・試合

◇正式計量について

- ① 1回のみとする。
- ② 出場選手は、同じ格好〔Tシャツ・下穿き〕で全員がそろっていること。
- ③ 計量後「計量結果用紙」を受け取り、顧問は初戦オーダー表を10：10までに本部に提出すること。
- ④ 柔道着検査は行わない。

[午後：男子新人団体戦]

1. 計量会場 : 自校チーム試合会場と同じ会場
2. 時程 : [更衣場所：道場]
 - 12：30～顧問受付・「健康状態確認書」を提出する。IDシール配布。選手・R選手入館。顧問は、選手変更がある場合、「選手変更用紙」を計量会場に持って行くこと。予備計量開始
 - 12：45 正式計量 全会場終了後 アップ開始

13:00

オーダー表 本部に提出

13:10

13:30 開始式・試合

(1) 正式計量について

- ⑤ 1回のみとする。
- ⑥ 出場選手は、同じ格好〔下穿きのみ〕で全員がそろっていること。
- ⑦ 計量後「計量結果用紙」を受け取り、顧問は初戦オーダー表を13:10までに本部に提出すること。
- ⑧ 柔道着検査は行わない。

〔女子・男子新人団体戦 共通〕

3. 選手変更 :

- (1) 受付時に、選手変更用紙(3部続き)をもらい、必要事項を記入の上、3部とも各会場の計量係に提出する。なお、選手の追加はできない。
- (2) オーダー表提出・オーダー変更について (全て顧問の責任となる。)
 - ① オーダー表は、当日の正選手・補欠に分け、正選手は正式計量の体重の軽い順に、先鋒→大将で記入する。
 - ② 提出したオーダー表は、1回戦のオーダー表となる。提出後～1回戦終了まではオーダー変更はできない。
 - ③ 2回戦以降が初戦となる場合は、1回戦等の様子を見て、オーダー変更をすることができる。
 - ④ オーダーを変更する場合は、試合が始まる前に顧問が記録係に申し出ること。
チーム招集のため審判が試合場に入った時点で、試合の開始とする。審判入場後のオーダー変更は認めない。つまり、直前の試合のオーダーが、そのまま踏襲される。
 - ⑤ 出場可能な正選手・補欠がいるにもかかわらず、作為的に故意に先鋒や次鋒に「空き」をつくることはできない。
 - ⑥ オーダー変更をする場合、以下の選手を出場させることはできない。
 - i) 一度退いた選手
 - ~~ii) 絞め技で〈落ちた〉選手 [カデ大会規定]~~ 今大会、絞め技は、禁止技とする。
 - iii) ダイレクトの「反則負け」になった選手 (両袖技・通常のヘッドディフェンスは除く)
 - ~~iv) 「両者同時累積反則負け」になった選手 (「失格」だが、大会申し合わせで出場可)~~
 - v) ケガ・疾病で棄権した選手 [本大会申し合わせ]
 - vi) その他、「失格」「未登録」等 出場資格のない選手 (後記⑧参照 他)
 - ⑦ 審判員は、試合前にオーダー確認をする。そこで、オーダーミスが発覚した場合：
(相手チームに、不利益が生じないことを趣旨として以下の対応とする。)
 - i) 単純な整列間違いは、オーダーミスとはしない。
 - ii) 上記⑥に関わるオーダーミスがあった時は、そのチームを「失格」とする。
(試合中に発覚しても、「失格」とする。)
 - iii) ii) に抵触することなく、オーダー変更がないのに出場可能な補欠選手並んでしまっている時は、オーダー表通りに (直前の試合のオーダーに戻し) 試合を開始し、罰則は与えない。
 - ⑧ 試合中にオーダーミスが発生した場合 (例: 次鋒戦に、誤って中堅の選手が出場し

た等)は、ミスをした当該選手は「失格」、そのことに関連し試合順が変わった同チーム内の選手を「棄権」とする。(⑦⑧とも、終了した試合については成立とする。)

⑨ ⑦⑧の際の「試合の礼法」、並びにこれ以外の事態が発生した際の取り扱いは、大会本部で決定する。

(3) その他

⑩各校の顧問は、記録係に申し出て、他校チームの正式計量の結果を閲覧することができる。(本部裏にも掲示)

⑪柔道着検査は、各校・各自の責任で行うこと。試合前に審判員が修正・交換を指摘しても、修正・交換できた場合は試合することを認める。しかし、それができなかった場合や違反のサポーター等が発覚した場合は「反則負け」を適用する。

⑫顧問は、試合前に審判員に対し、相手選手の柔道着に疑義を申し述べるができる。しかし、一旦試合が始まれば、疑義の申し出はできない。

⑬顧問・コーチも、ベンチに入る場合は、選手に合わせて試合前・試合後の礼を行うこと。

(4) 顧問・コーチの、試合中の選手へのコーチング[サイドコーチ]について

⑭決められた席(場所)で行なうこと。

⑮主審の「待て」から、次の「始め」までの間に行なうこと。

(5) 「(a)外部指導者(コーチ)」について

[以下は(a)で表現]

⑯(a)には、審判に対する抗議権・質問権はない。質問のみ顧問を通して行なうことができる。(抗議権は、顧問にもない。)

⑰(a)は、大会開催中に選手の棄権・交代を係に告げることはできない。顧問を通してのみ行なうことができる。

(6) 「大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した選手は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を受けること。

◆ルールの解釈について：

⑱低い背負い投げ等で投げられた際、受け身を取れず相手越しに顔面から畳に落ちた場合の扱いは、《ヘッドディフェンス》を適用し「反則負け」とする。ただしこのケースは、従来からの「審判申し合わせ」に沿って「試合にでるには未熟である」と判断し、〈選手の安全管理の観点〉からその日の以降の試合には出場させない。

⑲「両者同時累積反則負け」は、「両者失格」であるが、R3年度夏季府大会からの「審判申し合わせ」により。

i) 団体戦は、以降の試合に出場できるものとする。「累積反則負け」と同じ扱い。

ii) 個人戦は、順位を決定しなければいけない場合(決勝戦・準決勝戦・府大会出場決定戦等)に限り、再試合を行う。これ以外の試合については、「両者失格」とする。

※ 今大会コロナ対応のための変更・追加事項

- (1) 無観客試合のため入館を制限する。〔選手・RES選手は、IDカード不要。IDカード（補助役員）・IDシールがなければ入館できない〕
- (2) “柔道着検査”は実施しない。各校の責任で、規定の柔道着等を着用し試合に臨む。
- (3) ジュリーと主審による「新 一審制」の導入 〔全試合にビデオケアシステム導入〕
- (4) 絞め技を禁止技とする。「待て」をかけ、罰則は与えない。
- (5) 頭を打ち、「すぐに立てない・立つ時にふらつく」等の症状が出た場合は、「棄権」とする。
- ~~(6) 団体戦のチーム勝敗が決したあとの、対戦を行わない。〔野球のX勝ちと同様〕~~
※全試合、「大将戦」まで実施する。
- (7) GSに入った場合、2分30秒経過ごとに1分間の休憩をとる。ベンチに下がり、水分補
- (8) 給をしてもかまわない。(ストップウォッチで計時。デジタルタイマーは用いない。)
- (8) 待機選手・補欠選手・R選手(打ち込み相手)は、声援禁止・拍手のみで応援する。
- (9) 選手は、対戦の前後に手指消毒をすること。対戦時のみ、マスクを外すこと。

※追加(10)

各校で、試合用赤帯(校名記入)を持参すること。〔乱取り等で使用している赤帯でよい。試合用白帯は使用しない。なお、赤帯がない場合は、試合会場にて借り受けること。〕

※追加(11)

各校で、噴霧式アルコール消毒液を持参すること。〔入館時・体重計測時・対戦前後に各校の責任で、自校選手・R選手の手指等の消毒を行う〕

下記は、万一10月16日(土)に「気象警報」が発令された場合に備えて、必ず事前に一読の上、柔道部員並びに保護者に周知すること。

※〔重要〕「気象警報」が発令された場合の措置について

* 以下(1)～(3)の場合、当日の大会を中止する。

- (1) 午前7時に、大阪府全域または大阪市地区に、暴風警報・暴風雨警報及び(暴風・暴風雨・大雨)特別警報が発令されている場合。
- (2) 午前7時に、JR「環状線」及び大阪メトロ「谷町線」・「中央線」のうち1つでも不通の場合。
- (3) 午前7時に、大阪市立「修道館」が臨時休館の場合。

- (4) 大阪府下の一部に「気象警報」が発令されている場合：
秋季府大会は、予定通り開催する。当該地区の学校については、所轄教育委員会の指示を踏まえて、参加・不参加を決定すること。
- (5) 今大会の開催・予定変更・中止については、前日15日(金)に、本専門部HPにアップする。気象警報が発令されている場合は、当日16日(土)6:00に再度アップするので、必ず閲覧すること。
- (6) 16日(土)が中止になった場合、17日(日)に順延する。